

岩切たつやの 日常活動

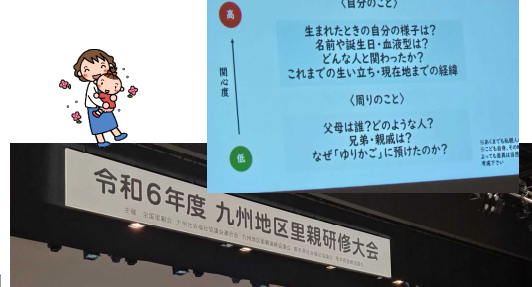
新田原基地を使用した日米共同訓練が強化され、宮崎空港も訓練使用されました。「緊張が増す国際環境」を理由に軍備強化が進められています。平和のために声をあげ続けます。
【日米共同訓練反対緊急集会】→



熊本で開かれた防災・減災フェアへ勉強に行きました。災害が増える環境に、十分な備えを考えます↓



いろんな労働組合の大会に伺いました。ありがとうございます。←



9月23日、臨時党大会で野田新代表が選出されました。私は県の代議員として参加。↑



県里親会長として、九州地区里親研修大会に出席→熊本市の慈恵病院にある「こころのゆりかご」と呼ばれる赤ちゃんポストに、最初に保護された若者の講演を聞くことができました。現在、養親のもとから大学に進学されています。



二〇二五年も地域の声を丁寧にお聞きし、出来事をしっかり調査して、県政に活かしていくことができるよう活動してまいります。

これからのまっとうな政治の実現を通じ、働く者の立場を向上させ、全ての子どもたちに幸福な未来があるように祈ると同時に、行動していきます。

様々な課題を取り上げて、県民福祉の向上に寄与できるよう頑張っています。

皆さまの、県政に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

岩切達哉FacebookのQRコードです

子どもに優しい社会を 岩切たつや 県議会 使い

人口減少に備え、働く環境整備、支え合いの社会づくりを！

今年も全力で取り組みます

県は、来年度予算編成方針の重点施策に、人口の社会減対策を本格的に取り組んでいくと決めました。
若者が宮崎県に残ってもらうように



なるには、どうしたらよいのか。
宮崎大学が昨年3月に取組んだ「若者の県外流出要因等調査」によれば、大学卒者や高校卒の若者が就労先を選ぶ理由に、「賃金水準」「福利厚生」「安定性」と答えています。知事や部長に対し、この報告書を受けて、どのような施策を予定するか問いました。
「県内企業の処遇改善を促したい」「子育て支援策に加え、安定的な収入の確保の実現につながる施策を部局横断で進める」としっかりと答えてくれました。
都市部と地方の賃金格差は、もう無視はできません。地方の存続にかかる課題となりました。私は、地方創生につながる投資効果がある事業として、賃金を上げるための直接の取り組みを求めました。他県では直接企業に補助金を支給をして、賃上げ実現を図ろうとする努力が進められています。

新年のお喜びを申し上げます

昨年、2月議会では、人口減少で労働力が著しく減少することで、様々な産業から人材が消失し、住民サービスや介護・医療の営みも困難になる問題を取り上げました。9月議会では、宮崎県に魅力ある雇用をという目標に対し、若年退職者が増加している県庁職場は魅力ある雇用なのかと問いました。そして11月議会では、人口の社会減対策を来年度重点施策として取り組む河野知事の姿勢を尋ねました。

人口の減少は、いま始まった問題ではありません。国民の生活を顧みず、自らの懷を暖め、お友達企業により儲からせることばかりに腐心した「今だけ、金だけ、自分だけ」政治が問題を放置していた結果です。
2025年においても、引き続き、活力ある宮崎の産業と社会を維持するために、労働者を大切に、支え合うまっとうな社会を追究し努力してまいります。

11月議会の質問項目

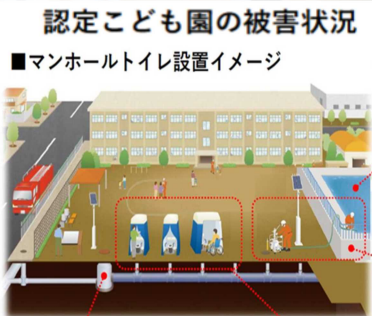
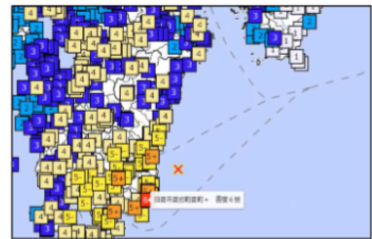
- 人口社会減対策の取組みについて
 - ・新年度予算編成方針
 - ・若者の流出防止策
- 高等特別支援学校など教育課題について
 - ・高等特別支援学校の募集、選考、運営等
 - ・県立高等学校教育整備基本方針（中間見直し）の骨子
 - ・青少年自然の家バリアフリー対策等
- 労働者支援、子育て支援について
 - ・建設業週休二日制導入に伴う収入減少防止
 - ・就労時間の多様化に伴う子育て支援
 - ・児童虐待等
- 県職員の雇用について
 - ・採用の実態と採用困難職種への対策
 - ・地域手当に見る都市と地方の格差問題等
- 闇バイト防止、信号機の課題について
 - ・不法バイト、犯罪バイト防止
 - ・信号機に地名表示を
 - ・時差式信号の危険性



県議会録画のQRコードです

夏の災害からの復旧を急ぐ9月議会

新幹線に夢を描く11月議会



9月議会では、これらの災害状況の報告と、被害からの復旧に向けた取り組みが報告され、避難所になる県立学校にはマンホールトイレやトイレを準備する予算が提案されました。災害復旧事業は11月議会で提案され18億5千万円余りの事業が組まれました。

8月8日に日向灘沖を震源とする強い地震がありました。日南市南郷町で震度6弱と、近年経験していない揺れとなりました。宮崎市内でも震度5強を観測し、人的被害も心配されたところです。幸い死亡者はなく、それでも重傷者や建物の損壊など、少なくない損害が発生しました。



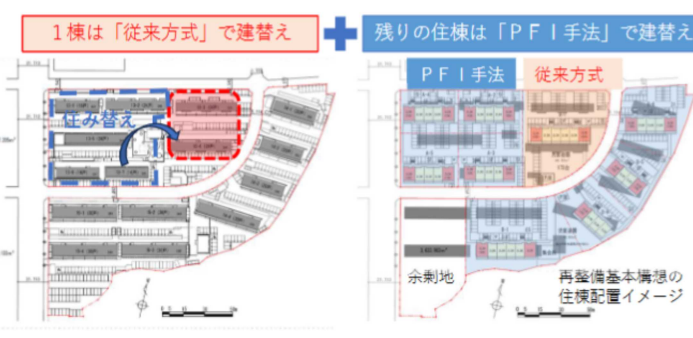
【大分県のHPから】

11月議会では新幹線が話題となりました。3つのルートの経済性など整理されましたが、どれがいいということではなく、現在唯一、国の基本計画は小倉から鹿児島を結ぶルート「日豊本線ルート」しかないという事実のもと宮崎から

鹿児島間を先行させてみたという案と、宮崎から八代にルートを変えてみたという、

来年秋に開かれる「ツール・ド九州」に宮崎・大分県境がステージとして設定されることになりました。カラフルなシャツを着こんだ選手たちが、精巧な自転車走りをフルスピードで走らせる姿は圧巻です。11月議会で準備予算

話題の提供があつたにすぎません。大分県では、1年早く同様の報告書が提出されて熱心な議論が進められ、高速大量輸送のメリットが最大限発揮できる四国を経て関西圏に繋がる四国新幹線に期待が強まっています。ほっとけば、東九州を南北に結び東九州新幹線への情熱は冷めてしまうかも知れません。東九州新幹線の実現には大分駅から南の部分の地元負担や、在来線の負担などを大分県が担うことが必要です。「四国新幹線がよい」「四国新幹線だけでよい」と判断されると、宮崎県に新幹線が走ることは難しくなるでしょう。



が3千万円余り組まれました。団地の建て替え開始！老朽化した県営住宅建替えに着手することになり、まず延岡市一ヶ岡団地から先行して、後に宮崎市大塚台団地、青葉団地に取組んでいきます。完了まで10年ばかりの事業。いま居住している皆さんの思いを尊重しつつ進めてほしいと考えます。

九月議会 もっと予算・人材を福祉と教育に向けて 十一月議会 女性局の設置で社会減対策強化を

9月、11月議会質問の一部をご紹介します。

★質問 ☆(子どもの福祉について) 虐待予防、体罰を用いない子育て、保護した児童と家庭との再統合など力を入れる必要がある。子供を主体として、よりよい環境整備をどう進めるか、知事の現状理解と考えを伺いたい。

★答弁 ☆(知事) 子供が自立した個人として尊重され、その最善の利益が優先されることが重要。人員体制と専門性の強化を進め、相談援助に力を入れている。関係機関とも連携しながら、子供たちが命を守られ、自分らしく、健やかに、安心して笑顔で暮らせる社会をめざしていく。

★質問 ☆(女性の県内定着) 消費生活相談員や、福祉機関で働く相談員の多くは女性が担い、その多くは国家資格等を持って就労しているが、多くは不安定雇用だ。公務現場が率先して魅力ある雇用実現すべきでは。

★答弁 ☆(知事) 女性や若者の県内定着に向けては、働きやすい労働環境や柔軟な働き方など、雇用の質や魅力の向上が重要。企業・関係団体ともこのような考え方を共有し、女性や若者を選ばれる宮崎づくりを進めていく。

★質問 ☆(住宅耐震化について) 県内での住宅耐震化率100%を実現するための対応について考えを伺いたい。

★答弁 ☆(知事) 能登半島地震における人的被害の多くは、家屋倒壊によるもの。南海トラフ地震の発生リスクに直面する中、住宅の耐震化は喫緊の課題。追加の予算措置し、令和7年度末の住宅耐震化率90%の目標達成、早期の耐震化完了をめざして、取り組みをさらに加速していく。

★私の思い ☆住宅の倒壊がなければ助かる命があります。予算が追加されました。安価に耐震工事の方法があります。また、補助金の情報など、啓発に力を入れて欲しいと考えます。

★質問 ☆(高等特別支援学校) 再来年度開設に向け周知の状況は？募集要領、選考方法は定まっているのか。また、どのような教育を行うのか。



★答弁 ☆(教育長) 県内各地で説明会を開催。定員や選考方法は来年度示す。学校での学習と企業での実習を繰り返すデュアル教育システムの導入で、職業的自立をめざす。高校との交流を推進し、相互理解を深め共生社会をめざす。

★質問 ☆(労働者支援) 建設業における週休二日が進む中、日給制労働者の収入維持が必要ではないか。

★答弁 ☆(県土整備部長) 働き方改革は重要で、設計労務単価の引き上げや、文書で適切な賃金水準の確保を要請している。

★質問 ☆(労働者支援) 早朝勤務、交代勤務など就労時間が多様化。小学校低学年の朝の居場所、夕方の居場所を支える取り組みが必要ではないか。



★答弁 ☆(福祉保健部長) ファミサボ事業や放課後児童クラブなど、市町村が取り組んでいる。社会全体で子育てを応援

する観点から、家庭の事情に応じた対応を考えていくことが大切だ。★私の思い ☆「朝の居場所」は新しい課題ではなく、子育てを地域で支え合った時代には問題とならなかったこと。現代の子育て環境をしっかりと見つめた施策を求めて参ります。

★質問 ☆(時差式信号) 十字路での時差式信号は危険と思う。矢印信号を追加するようにして欲しい。

★答弁 ☆(警察本部長) 随時見直しする。右折車線が確保できれば右折矢印信号を設置したい。

会派で 提案した意見書が成立し、国等に提出!

◆民生委員・児童委員の処遇改善を求める意見書◆

2024年11月、第93回全国民生委員児童委員大会が宮崎市で開かれました。宮崎県での開催は31年ぶり。そのなかで、全国的に充足率が低下傾向で、年齢も60代が中心で徐々に70代の割合が高くなっているなど、担い手不足や高齢化が課題となっていると議論がありました。

私たちは会派で、民生委員の担うべき役割を整理し負担感を減らすことや、活躍を支える活動費の増額を求める意見書を県議会に提出。全会一致で採択することができました。

